

FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2023/成都) 日本代表選手の選出方法について

FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2023/成都)について下記の通り選手の選考を行う。

I. フェンシング日本代表選手団編成方針

FISU ワールドユニバーシティゲームズ派遣にあたり、JOC が示す「TEAM JAPAN 編成方針」に準ずる。

FISU ワールドユニバーシティゲームズ TEAM JAPAN 編成方針

「人間力なくして競技力向上なし」を根幹に据え、行動規範を遵守し、各国・地域との友好親善に寄与できる選手と監督・コーチ等をもって編成する。

日本代表選手は、当該競技団体の責任において、国民の期待に応え得る競技力を持ち、メダルが十分に期待できる者として推薦された中から選考する。

II. 大会期間

2023年7月28日(金) ～ 8月8日(火)

(※試合期間：8月2日～8月7日)

III. 開催国

中華人民共和国/成都

IV. 実施種目

個人戦：男女フルーレ、男女エペ、男女サーブル

団体戦：男女フルーレ、男女エペ、男女サーブル

V. 派遣種目及び派遣人数

男子フルーレ： 3名

女子フルーレ： 3名

男子エペ： 3名

女子エペ： 3名

男子サーブル： 3名

女子サーブル： 3名 計 18名

VI. 選考基準

(ア) 対象選手

・下記①又は②のどちらかに該当し、③をすべて満たしている者。

① 大学あるいは教育担当官庁に承認された大学相当の研究機関に正式に登録した現役学生

で、学位または卒業証書取得の課程にある者。

- ② ①で述べた研究機関に以前学生として在籍した者で、2020年1月1日以降に学位または卒業証書を取得した者。
 - ③ 全競技者は、以下の条件を満たさねばならない。
 - a) 代表となる国の国籍を有する者。
 - b) 大会開催年（2023年）の12月31日時点で、18歳～27歳（1996年1月1日から2005年12月31日の間生まれ）となる者。
- ※…2021年に条件を満たした選手が、2023年にもFISU競技大会に参加できるよう年齢制限を27歳に延長。

(イ)選考方法

・本選考方法については、下記の通り日本フェンシング協会国内シニアランキング制度を利用して選考するものとする。(2023年4月時点)

- 日本フェンシング協会国内ランキングに氏名が入っており、高順位に位置している選手から順番に選考する。ただし、上記に示した「(ア)対象選手」に該当しない選手は除く。
- 辞退者が出た場合は、次点へと繰り下げていく。但し下限はJOCに提出する最終候補者台帳8名までとする。

<補足>

本選考方法においては、当初開催予定であった2021年において、コロナ禍での選考会の開催が不可能だったことから、日本フェンシング協会国内ランキングを参考にすることを前提としていた。その後、2022年から2023年へ再度開催延期が決まったことにより、参加出来る対象年齢がさらに広がり、FIEのシーズンに重なっていることで選考会の実施が困難となったため、2023年開催においても国内ランキングを参考に選考方法を適用することとした。

(ウ)その他

・本大会の前後には、「アジア選手権大会」、「世界選手権大会」、「アジア競技大会」が開催され連戦が予想されるため、上記3大会に選考された選手の本大会への派遣については、選手の体調、コロナの影響等を勘案し、選手の本大会参加への意向を踏まえ強化本部と関係各所にて決定する。

(エ)選考手順

- ・本選考に則り選考された選手は、選考委員会の承認を経て、理事会での承認をもって最終決定とする。
- ・理事会での決定後、日本フェンシング協会HPにて最終結果を公表する。
- ・各種目ヘッドコーチは、当該大会の代表選手選考後に怪我などで棄権者が出た場合、JOCに代替選手を選考する。

- ・選考される選手は JOC に提出する最終候補者台帳 8 名の中に入っていることを前提とする。
- ・強化本部長は、理事会での決定後に選考された選手及び当該選手の所属先に対して、代表選考の結果通知を行う。
- ・当該大会の選考対象となった選手は、選手選考に関する説明を強化本部に求めることができる。

以上